

科目ナンバリング		U-LAS41 10002 PJ49									
授業科目名 <英訳>		スポーツ実習 I B [バドミントン] Sports I B [Badminton]				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 岩中 伸壮			
群	健康・スポーツ科目群			分野(分類)	スポーツ実習			使用言語	日本語		
旧群	D群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	実習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	月1/月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
本実習では、生涯スポーツをテーマとし、バドミントンを通して、スポーツを生涯にわたり楽しめる知識と技術を身につける。受講者間の相互関係を広めコミュニケーション能力の向上を図るとともに、身体運動の学習に能動的に取り組み、スキルの向上を目指す。バドミントンは身体のコントロールのみならず、ラケットのコントロール技術も重要である。加えて、シャトル・ラケット・身体の位置関係の空間的な認識、シャトルの軌道予想も大切である。まずはシャトルをキャッチボールする感覚で始め、各自それぞれの『生涯スポーツとしてのバドミントン』を習得してもらいたい。											
[到達目標]											
・バドミントンのルール、基本技術を習得し、ゲームを楽しむことで運動する習慣をつける。 ・バドミントンをコミュニケーションツールとして捉え、仲間と楽しく過ごす工夫ができる。 ・安全にゲームができるよう、周りに気を遣うことができる。											
[授業計画と内容]											
第1回 体育館メインフロアにおいてガイダンスを行う 第2回～第4回 基礎練習 第5回～第6回 サーブとレシーブからの簡易ゲーム 第7回～第9回 ゲームを楽しむ シングルス・ダブルス 第10回～第14回 ゲームを楽しむ 団体戦 第15回 フィードバックとして、個人の質問に対応する （技術レベルの向上具合を見て内容を変更する可能性がある。）											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点]											
出席状況と実習への取り組みの積極性に基づき総合的に評価する。											
[教科書]											
使用しない											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
スポーツ実習 I B [バドミントン] (2)へ続く↓↓↓											

スポーツ実習ⅠB [バドミントン] (2)

[授業外学修（予習・復習）等]

運動が健康維持に重要であることは疫学調査からも明らかとなっています。『運動する習慣』を獲得できれば、将来的な死亡リスクを低下させることになります。積極的に授業外の運動機会を増やしましょう。

[その他（オフィスアワー等）]

・授業時間外の相談はメールにて受け付けます。

アドレス：iwanaka.nobumasa.38n（アットマーク）st.kyoto-u.ac.jp

・スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠償）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。

・ラケットやシャトルは大学で準備しています。

[主要授業科目（学部・学科名）]